

● Photo sketch ●



12/20

音楽で心豊かに

ときつこども園(土岐津町)で、人と関わる楽しさを感じ豊かな感性を育もうと、土岐紅陵高校吹奏楽部員との交流会が行われました。

演奏された曲は、となりのトトロやドラえもののテーマ曲など園児に大人気の楽曲で、園児らは手拍子をしながら口ずさんでいました。また、部員と一緒にクリスマスモードが漂うスレイベル(そのの鈴)を鳴らしたりするなど、生の演奏や楽器との触れ合いを心豊かに満喫していました。



12/21

これぞ土岐市の名菓・名品！  
発掘に余念なし

手工芸品やお菓子などから土岐市らしいお土産を発掘し、市をPRするため市観光推奨品を決める審査会が開かれました。

今回、市内12の事業者から計21点の応募があり、土岐市観光協会の役員や旅行事業者、市と観光連携協定を結んだ桜花学園大学の学生など8人の審査員が感覚を研ぎ澄ませ審査しました。認定された商品は、観光イベントやテラスゲート土岐内の「まちゆい」で販売予定です。



12/26 花餅づくり

12/26  
1/5

僕も私もなんでもチャレンジ

駄知・妻木・土岐津小学校の放課後教室で“チャレンジデー”と銘打ち、児童らがさまざまな体験活動に挑戦しました。科学実験教室(駄知小)では、3D映像や電子レンジでプラズマ実験などを体験。花餅づくり(妻木小)では、紅白の餅を一つ一つ丁寧に飾り付け正月用の花餅を作りました。ハンドベル演奏(土岐津小)では、歌を歌いながら優しい音色を響かせました。

各教室の児童らは、普段できない体験に目を輝かせ楽しんでいる様子でした。

1/18

新しい人権擁護委員の紹介

新たに人権擁護委員となった楓重彦さん(肥田町)に、法務大臣の委嘱状が伝達されました。楓さんの任期は平成30年1月1日から3年間(1期)です。

同委員は、市民の中から選ばれたボランティアで、市内では市長から推薦され同大臣から委嘱を受けた9人が、人権相談や啓発活動を行っています。

楓さんは「子どものいじめや児童虐待など、皆さんの基本的人権が侵されることのないよう活動していきたい」と意気込みを話してくれました。



12/20

テーマは「スマホについて」  
中学生サミット開催

市内6校の代表者が集い、各校自慢の取り組みやテーマについて意見を出し合い交流する、「夢と絆中学生サミット」が泉中学校で開かれました。今回からリーダーの資質や意欲を高めるため生徒が主体となって企画運営を行い、同校がホスト校を務めました。

メインテーマとなった「スマホについて」では、各校が事前のアンケートを取り分析した結果を基に、どんなことに使用しているか、どのように使用していくことが良いのかなど活発な意見が飛び交いました。

話し合いの結果、スマホの利用について「仲間と約束をつくり、自分のルールをつくろう」というスローガンが採択されました。この話し合いを各校へ持ち帰り、各校の実情にあった課題に向き合い取り組んでいくとのことです。



1/7

新成人の誓いを胸に

成人式典が文化プラザで開催され、新しく大人の仲間入りをした491人が出席しました。

式典の進行は新成人の代表14人によるもので、中学校生活を振り返るスライドショーの上映や、出身中学校対抗のクイズ大会などが行われました。

「新成人誓いのことば」では、実行委員長の水野大和さん(土岐津中出身)が、「一人の社会人としての自覚と責任、そして夢を持ち、名実ともに大人と認められるように、己を磨き精進していきます」と力強い言葉で決意を新たにしました。

